年忘れ!?

GYO-TEN TUNING SHOW

ギョーテン!!

チューニングショー

チューンドNSX 3連発

アレ!? 外車かな? なんていうクルマだ? とオレたち編集部員まで瞬間的に正体を見抜けないほど、最近のボディワークは手が込んでいる。でも、NSXをベースにココまでっていうクルマは、ほかにはないんじゃないかな。単純明快にスゴイ、でしょ。

この車種不明感を演出するフェイスリフトのまさしく目玉パーツ、ヘッドライトはセリカからの流用で、その他多くの部分のボディワークはワンオフや社外品の加工で作られている。

そしてドアは、ガルウイング化。これらのエクステリアチューンは地元、岡山のカーライフ・ジャパンによるものということだ。

そして実はこのクルマ、単なるドレスアップ仕様じゃないところにも驚き。バンパーサイドに装着された牽引フックを見ると、確かに使われたあとが残っている…、もともとがTーサーキットをステージにする走行会仕様で、今後も搭載されたNOSを武器に、さらに過激に走っていく予定なんだって。

というわけで、コンセプトは走っていると目立って、パーキングやパドックでもっと目立つという、とってもわかりやすいもの。狙いはまさに実現されて、究極のNSXになっているといえるんじゃないかな。

エキマニとマフラーはソーサリーのワンオフで、センターデュアル出しのマフラーはリヤビューを引き締めているよ。

よく見ると牽引フックには、使われたような形跡が…。外観からは、スポコンノリの単なるドレスアップ仕様かと思われがちだけど、このマシンはTーサーキットを現役で走っている走行会仕様というから驚き。

基本的には吸排気プラスコンピューターのライトチューンながら、NOSを噴射することで50psのパワーアップが可能。ストレート区間を中心に大幅なタイムアップの望めるアイテムだ。

ドアサイドに貼ってあるフェラーリの紋章マークはマシンとシャレが半分かぶつ。車格が近い(?)フェラーリがNSXの対抗馬になるのは当然の流れなのかな?

取材協力：ソーサリー ☎072-258-1009
カーライフジャパン ☎0869-57-4441

2発目!! 岡山県発、TIサーキットでキャッチ!!

ガルウイング&フェイスリフトでドレコンOKのサーキット走行会仕様

前の2台を見ると、ホント普通に見えてしまうこのNSXは、最速を目指して真っ向からチューニングを極めているマシン。

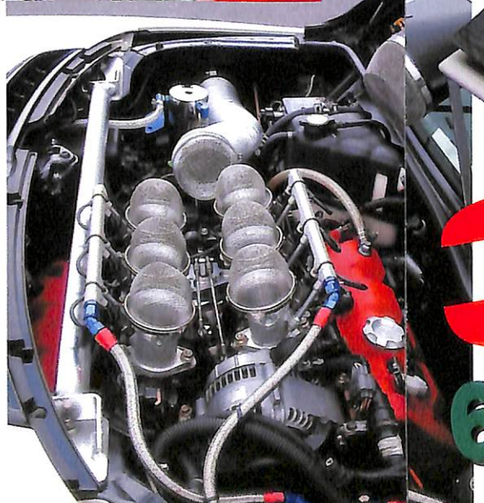
四国の香川県にあるガレージトライアルでチューニングをされたNSX-Rで、C30Aエンジンを戸田レーシングのパーツを使って3・5ℓ&6連スロットル化、FコンVプロを使って制御している。

その出力は、なんとNAにして415ps。トルクも40kg-mを超えていると言うから、驚きだ。

このエンジンに、素性のいいNSX-Rのコーナリングフォースがプラスされれば、まさに鬼に金棒、並のターボ車じゃ太刀打ちできるもんじゃないのは言うまでもない。

筑波サーキットやTーサーキットでのNA最速タイムを持っているだけでなく、普段は地元の高速道路をカッ飛んでいるというから、ウデ自慢のひとはいちど勝負をかけてみたらどう?

3.5ℓ仕様のエンジン出力はなんと400psをラクラクオーバー。エアインテーク付きのアクリルゲートから6連スロットルにフレッシュエアを引き込み、FコンVプロで制御が行われている。



ミッションはオリジナルの3速プロスピードケヤフォーミュラのシーケンシャルターボパターン化、シフト時のタイムロスやシフトミスを未然に防いでいる。細部にまでこだわりまくった作り込みには恐れ入ってしまうほど。

取材協力：
ガレージトライアル ☎087-870-6263

ボディサイドのダクトからもエンジンルームやブレーキに向けて走行風を積極的に導いている。ホンキで走っているからこそ、効果の出てくるチューニングといえるね。

ブレーキは前後ともブレンボ。リヤはキャリパーを交換するとサイドブレーキがなくなってしまうので、サイドブレーキは専用のキャリパーを追加している。

3発目!! 香川県発、TIサーキットでキャッチ!!

6スロ、3.5ℓで415ps、最速目指しのサンデーレース仕様!!